

4 平成30年度安全・安心まちづくり事業の実績

「文の京」安全・安心まちづくり講習会

名称	日程・場所	参加者	内容
地域安全キャンペーン	平成30年10月2日(火) 文京シビック小ホール	350名程度	地域住民の防犯意識の向上を図り、機運を高めるため、文京区・区内四警察署合同で地域安全防犯キャンペーンを開催し、特殊詐欺被害防止講演を行った。
地域安全教室 (子ども向け)	平成30年11月11日(日) 文京スポーツセンター (文の京こどもまつり内)	300名程度	子どもを犯罪から守る地域づくりを進めることを目的として、子ども110番のぬりえや、パトカーのペーパークラフトのほか、防犯標語「いかのおすし」の周知・啓発を行った。

青色防犯パトロールカー運行

安全・安心まちづくりを推進し犯罪の抑制を図るため、区内のボランティア団体と区が青色防犯パトロールを実施した。

パトロール隊名	内容
文京安全安心パトロール隊 (区民ボランティアで構成)	文京区長から青色防犯パトロールを委嘱(平成19年12月28日) 代表者:土屋 謙 氏 参加人数:15名 車両:4台
森川町会地域安全パトロール隊 (区民ボランティアで構成)	本富士警察署長から青色防犯パトロールを委嘱(平成19年12月10日) 代表者:森 保夫 氏 参加人数:1名 車両:1台 (平成30年9月末で活動終了)
SYM三町会災害連合会 (区民ボランティアで構成)	本富士警察署長から青色防犯パトロールを委嘱(平成29年4月4日) 代表者:高山 宗久 氏 参加人数:7名 車両:3台
「文の京」地域安全パトロール隊 (区職員等で構成)	文京区が行う青色防犯パトロールとして、平成18年3月から実施 車両:2台 平成20年7月から区民を隊員として委嘱できるよう規程を改定

注1 青色防犯パトロールとは、警察から「青色回転灯を装備する自動車による自主防犯パトロールを適正に行うことができる旨の証明」を受けた団体が、利用する自動車に青色回転灯を装備して行うパトロール

注2 団体に対しては、区が青色回転灯、車体表示ステッカー等を貸与

安全・安心まちづくり事業補助

補助対象	実績	補助率	内容
推進地区の活動支援 (1)地域における見守り活動支援 〔防犯設備の整備〕	9件	11/12 (区1/3 都7/12) 限度額 707万1,428円(複数) 471万4,285円(単独)	地域活動団体が、安全・安心まちづくり推進地区の指定を受け、推進地区において防犯カメラ、防犯灯、ポラード等の防犯設備を設置する際に、設置費用を助成する。
推進地区の活動支援 (2)必要備品・装備等の購入 支援	2件	5/6 (区1/3 都1/2) 限度額 33万円3,333円	地域活動団体が、安全・安心まちづくり推進地区の指定を受け、推進地区において活動を行う際に、資器材の購入費用を助成する。
地域における防犯活動の支援	4件	1/2 限度額 10万円	地域活動団体等が、自主的な安全パトロールを実施する際に、必要な資器材等の購入費用を助成する。
	14,076,397円		

パトロール用資器材貸出し

品名	実績	内容
・ぶんちゃんベスト ・ぶんちゃん腕章 ・トランシーバー 等	3件	年末警戒等のパトロールで使用する腕章・ベストや、小学校で実施する地域安全マップづくりで使用する子どもサイズのベスト等の貸出しを行う。

自動通話録音機貸出し(特殊詐欺防止対策)

実績	内容
776台 (内訳:区220台、警察署556台)	特殊詐欺等の未然防止対策として、区内のおおむね65歳以上の高齢者居住世帯を対象のうち貸与を希望する世帯に対して、区内の警察署と連携し、自動通話録音機を無償で貸与する。

「文の京」安心・防災メール

運用開始	登録件数	配信情報	内容	
平成22年4月1日	10, 044件 (平成31年3月31日現在)	① 防犯等安心情報 ② 全国の震度速報 ③ 文京区の震度情報 ④ 文京区の気象情報 ⑤ 神田川の水位情報	配信内容	・子どもの安全に係わるもの ・緊急事件 ・その他必要と認めるもの
	5, 820件 (平成22年4月末)	⑥ 文京区の雨量情報 ⑦ 週間天気予報 ⑧ 災害情報 ⑨ その他情報	配信件数	79件 (うち子どもに関するもの:12件)
	配信情報: 子ども関連課提供情報と警察署配信情報			

※希望者はパソコンや携帯電話から自由に登録・変更・解除(①、③、④、⑤、⑥は取捨選択可能)